

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林環境保全ふれあいセンター

平成24年度 年 報

〒090-0035 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-23-2472

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/



「オホーツクの森」展望台より

年報の発刊に当たって（設置9年目を終えて）

常呂川森林環境保全ふれあいセンターは、地域の方々とともに、将来に向けた森林づくりを考えていきたいと思っています。

常呂川流域を主な活動区域として、自然再生や森林環境教育の支援に取り組んだ、平成24年度の活動内容をまとめましたので、ご覧下さい。

自然再生モデル事業の取り組み

☆自然再生モデル事業企画運営協議会



平成17年にモデル林設定調査がされ、平成18年からモニタリング調査を実施し、現在まで協議会の中で議論しながら進めてきました。



平成19年から樹種転換地域でのカミネッコ植樹、平成21年から体験学習の場として一部地域でモデル林を活用して、最終目標である針広混交林化を目指して協議会で議論して進めてきましたが、前回、協議会の現地検討でも意見が出され、森林施業として、この山をどうしていくかという事が問われてきています。

施業上のモデル林の位置づけ、取り扱いについては、網走中部森林管理署と相談しながら進めることとなりますが、その前に、センターとしてモデル林のどの部分をどうするのか、という計画が必要となりますし、その計画案を協議会で議論して進めることとなります。



☆「森林づくり熟」の結果と今後



平成24年度は2回、実施する予定で考えておりましたが、7月のプロット6までの歩道と試験区域の草取り及び植栽した木と侵入木の本数調査の1回だけの実施となってしまいました。

次年度においても、データ蓄積のため継続して取り組む考えです。

ただ、今年度は、こちらの諸事情から2回目の実施ができず、最低限の実施のなってしまいました。平成25年度は年2回の実施を目標に取り組んでいきたいと考えています。



☆自然再生モデル林モニタリング調査（水棲生物）

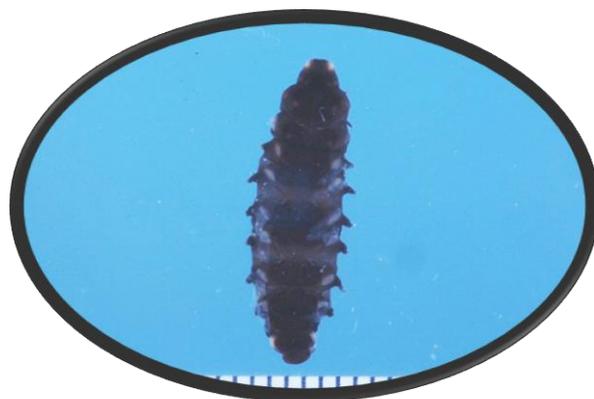


本年は更に枝沢を含む調査を実施したところですが、昨年と同様にコガタカワシンジュガイ、ヘイケボタルなどが確認され、新たなところでは、シベリアヤツメが確認されました。

コガタカワシンジュガイについては、大きさのバラつきもあり、世代交代しながら繁殖しているようです。

また、ヤマメのエラにコガタカワシンジュガイの幼生も付着していることも確認されています。

これだけの生物が生息しているということは、生息環境が安定しており水質も良好であることが伺えます。



☆日本赤十字北海道看護大学、植樹体験



平成24年の5月31日から6月1日に北見市の日本赤十字北海道看護大学の1年生、総勢102名を対象に生物多様性と森林、林業の関わりについて講義と実習を行いました。



1日目は北海道森林管理局、指導普及課の藤生企画官の北海道の森林・林業の歴史と現状、生物多様性と森林との関わりについて講義を受けました。

その後、明日の実習で使うカミネッコンを工作の授業のように、皆さん楽しそうに作っていました

2日目は端野町緋牛内にある国有林2287林班に設定された自然再生モデル

林で、フィールドワークの授業の一環としてカミネッコン植樹を行いました。全員が初めての体験なので四苦八苦しながら作業しました。



☆生長の家 林業体験

平成24年7月29日に今年も、「生長の家」の夏季青少年一日見真会のお手伝いをしました。

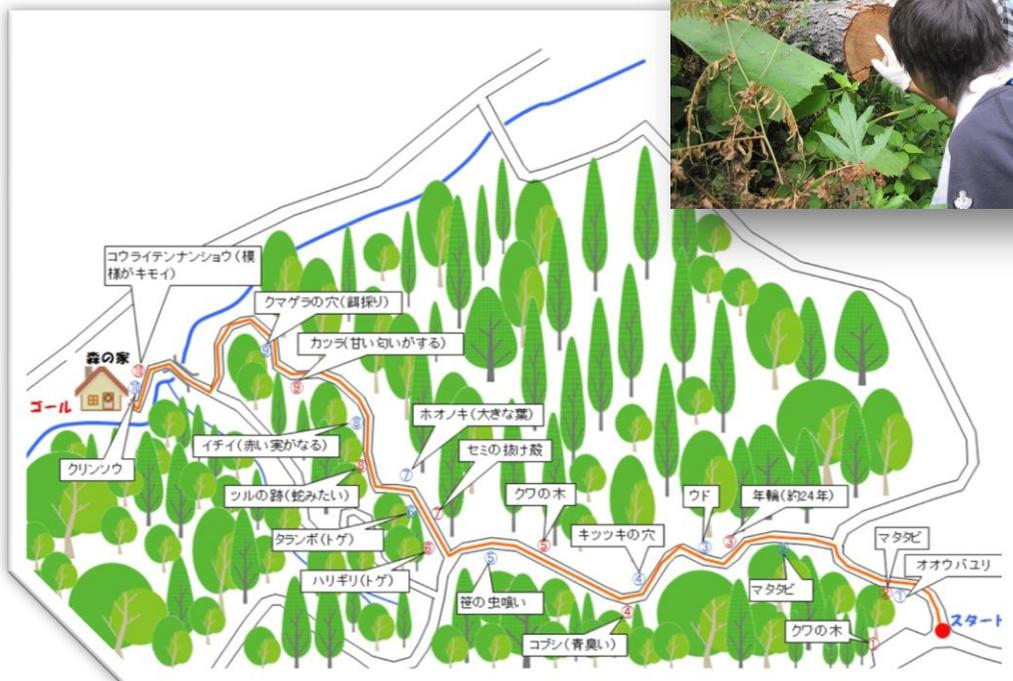


例年は植樹なのですが、今年は植樹した木の手入れということで、自然再生モデル林を活用して枝払いを体験してもらいました。



午後からは平安林道と平安遊歩道を約1時間かけて森林散策を楽しみました。

桑の実を食べたり、年輪を数えたり、キタコブシの匂いを嗅いだりと五感を活用して森を体験していただきました。



☆北辰土建 緑化活動

今年で4年目になる北辰土建の皆さんによる、緑化活動を総勢16名でオホーツクの森、自然再生モデル林にて実施しました。



今回は植えた後の手入れの重要性を理解していただくために、保護柵の修理と、その中に入り込んで木の成長を邪魔する草を手作業で取り除いていただきました。

また別働隊は、この植樹地域の歩道の草刈も併せて行っていただき、作業後は、非常にキレイになりました。



☆平成 24 年の野生動物自動撮影



例年と変わりなく、エゾシカ、キタキツネ、ジュウジギツネ、エゾタヌキ、エゾクロテンなどが撮影されました。

昨年より、エゾクロテンの撮影される頻度が上がってきたので、餌になるものが増えてきたのでしょうか。



森林環境教育の取り組み

☆教育機関との連携



教育関係機関等と連携した取り組みは、6月7日(木)にオホーツク管内の新任教師等19名を対象に、「オホーツクの森」において、「自然観察基礎講座」を行いました。

最初に、アイスブレイクとして様々なゲームを体験してもらいながら、仲間意識を高めてもらいました。

次に、カミネッコンによる植樹を体験してもらい、その後、森林の中を歩いて植物の特徴や名前の由来、五感を使った自然体験方法などを実感してもらいました。

受講した先生からは、学校に戻ってこの体験を様々な形で子どもたちに伝えていきたいとの言葉をいただきました。



☆森づくり活動支援

9月23日に、オホーツク観光連盟等の主催による「流水守り隊！森林ウォーク&植樹会」の参加者21名が、オホーツクの森で、森づくり体験を行い、当ふれあいセンターが植樹指導や森林の中を案内しました。



☆オホーツクみどり検定への支援



7月7日に、オホーツクみどりネットワーク主催の「第3回オホーツクみどり検定」が森の家の施設及びオホーツクの森で行われました。その際、当ふれあいセンターの職員もお手伝いしました。

☆ボランティア団体への支援



当ふれあいセンターでは、ボランティア団体等の支援を行っております。

例えば、森林整備を体験したいとか、樹木や花の名前などの知識を学びたいなどの要望に、様々な形で対応しています。

左の写真は、ボランティア団体が

オホーツクの森の遊歩道の整備を行っているところです。

また、右の写真では、ボランティア団体が主催している森林散策会において、当ふれあいセンターの職員がガイドとして参加・支援しています。



その他の取り組み

☆「オホーツクの森」ボランティア植樹を実施

10月12日に、第9回「オホーツクの森」ボランティア植樹を行いました。

端野小、常呂小、一般市民等を含め165名が参加して600本のトドマツを植えました。

参加した小学生からは初めての山の中での植樹体験で、難しかったけど楽しかったとの話も聞け、貴重な体験の場を提供できました。



☆NPO 活動発表会へ支援



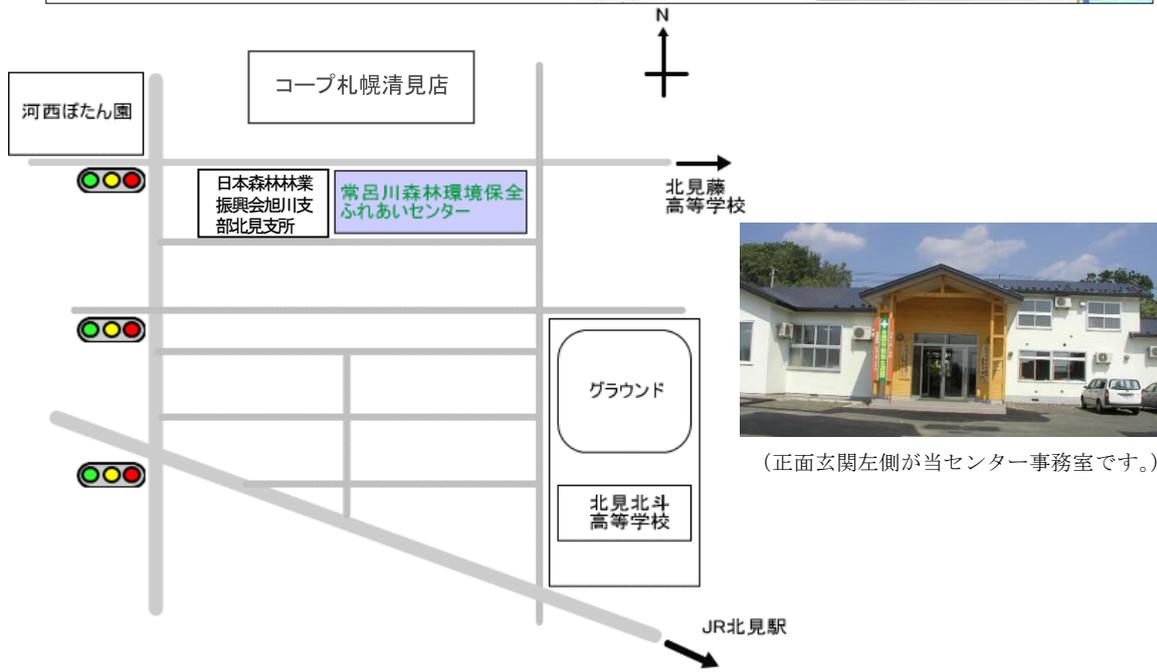
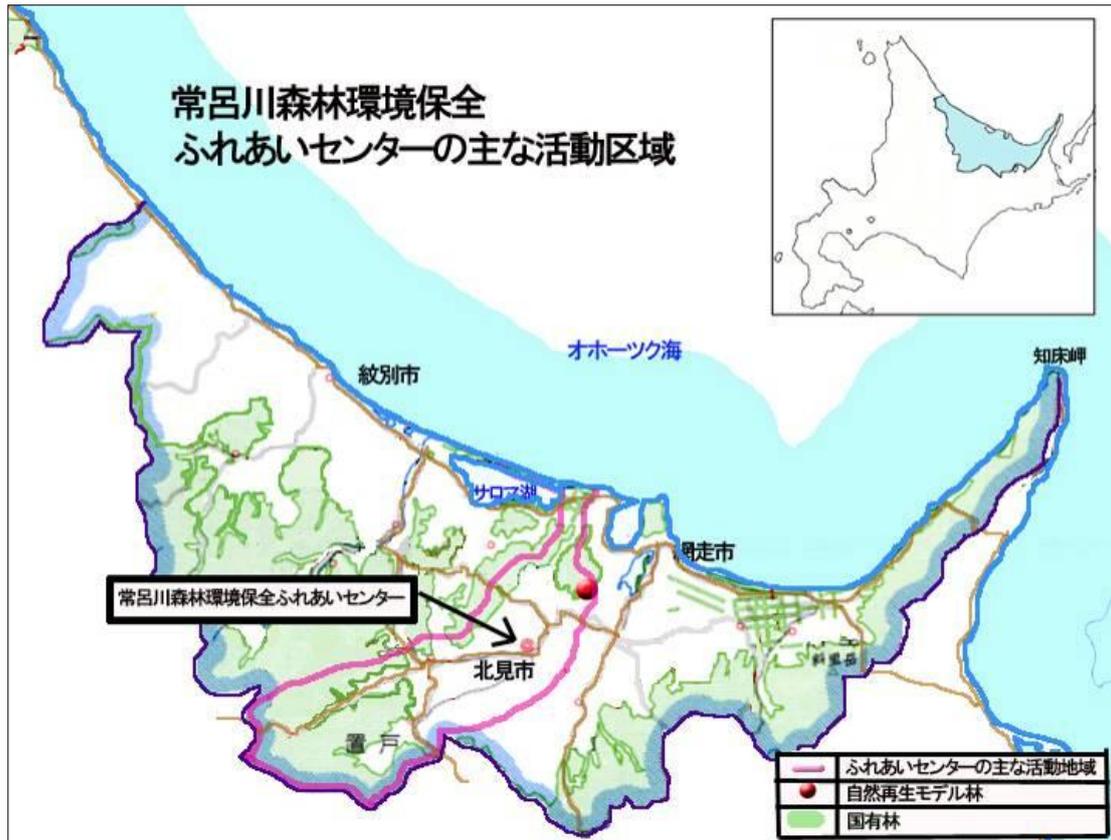
道内4つのふれあいセンターに関係するボランティア団体を一同に集めて、ふれあいセンターを含めた活動発表会が、12月8日に札幌で行われました。

常呂川森林環境保全ふれあいセンターの関係では、森林ボランティア「オホーツクの会」の発表をサポートし、活動のPRを行いました。

☆写真パネル展などにより活動PR

オホーツク「木」のフェスティバルや道庁赤レンガ前で行われた「道民森づくりネットワークの集い」、北見市緑のセンターでの「パネル展示」、オホーツクみどりネットワーク全体会議など、様々な機会に写真を使いながら、一般市民向けに活動PRを行いました。





**北海道森林管理局
常呂川森林環境保全ふれあいセンター**

090-0035 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960
050-3160-6321
FAX 0157-23-2472